

科目名	身体・老年期障害作業治療学特論	担当教員	三宅環 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	-----------------	------	-------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義

科目概要	<p>本講義では身体・老年期障害領域の作業療法で対象となる疾患の特徴や、作業療法支援の実際例を通して、具体的な治療展開、支援方法について理解を深める。また、文献検索、文献抄読、グループワーク、プレゼンテーションを通して、症例を深く掘り下げて考察することを学ぶ。また、臨床現場における事例のまとめ方や発表の方法についても学習する。この事例研究の過程を通して、身体・老年期障害領域における知識や実践方法についての探求心を深めていく。</p>
学習目標	<p>① 身体・老年期障害領域の病態を理解し、説明できる。 ② 認知症の生活支援について説明できる。 ③ 症例検討を通して治療目標、治療計画を適切に立案できる。</p>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	対象者の理解1	片麻痺のバランス・嚥下障害	講義及びグループワークを通して身体・老年期障害領域の病態を理解する。	
2	対象者の理解2	注意障害・利き手交換	講義及びグループワークを通して身体・老年期障害領域の病態を理解する。	
3	基本動作1	対象者への触れ方・寝返り	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
4	基本動作2	立ち上がり・移動・ベッド上での介助方法	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
5	認知症	認知症の病態、生活支援の実際	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
6	症例検討	治療計画の立案	症例検討を通して治療計画の立案方法を身につけ実践できる。	
7	症例検討	治療目標の立案	症例検討を通して治療目標の立案方法を身につけ実践できる。	
8	症例検討	総括・その他		
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		指定しない(配付資料)		
参考図書		日本作業療法士協会・編『作業療法ガイドライン 2012年版』:社団法人日本作業療法士協会、2012年		
学習の準備		身体・老年期障害領域の基礎疾患に関して復習しておくこと。		
オフィスアワー		随時		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				